

耐力壁実施例



【構造面材の耐力比較について】

面材の構造特性をみるには、①初期剛性（かたさ）、②最大荷重（強さ）、③粘り強さの三点がポイントとなります。MOISSは、けい酸カルシウムという素材でありながらも、初期剛性が高く、比較的靱性（粘り強さ）が高い曲線を示している。一般にこの靱性は、エネルギーの吸収能力という指標で表現され「荷重－変形曲線」で示された範囲（面積）で決定されます。この面積が大きいほど耐力が大きい評価を得ることになります。

この粘り、エネルギー吸収力が大きい素材は強い地震がきた際にすぐには破壊に至らず、地震力に対して柔軟に抵抗するものと考えられています。

【凡例】
 ■ MOISS TM 厚9.5mm N50 @100
 ●●● 構造用合板 厚9mm N50 @150
 ■■■ 石膏ボード 厚12.5mm GN40 @150

(注:MOISS以外の壁倍率は告示の数値
また、取り付けピッチは外周部を示す)

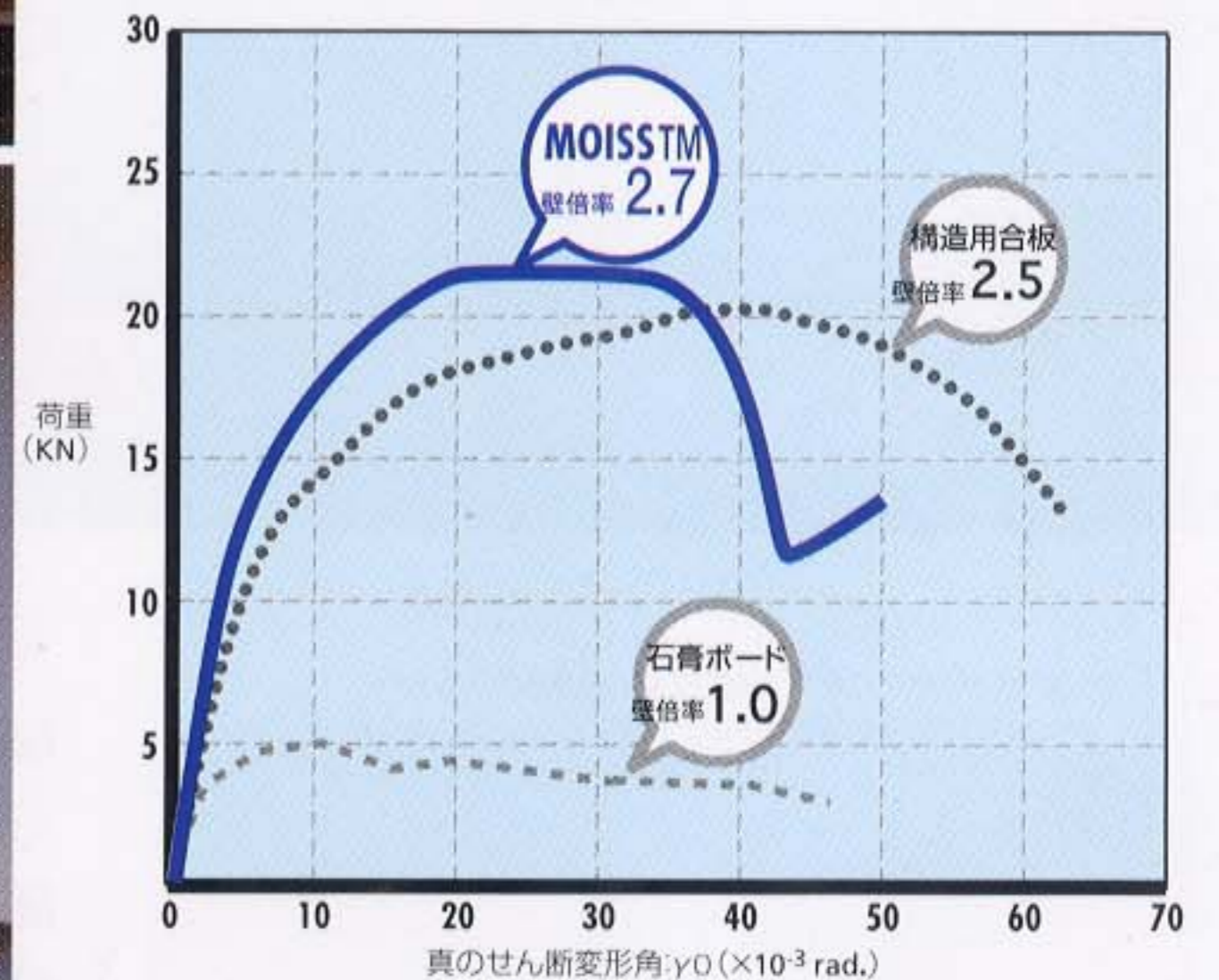


図 構造耐力壁の「荷重－変形角」包絡線



S邸（千葉県）外壁下地MOISS耐力壁+MOISS内装仕上げ

MOISSがもたらす6つのメリット

1 **耐震** 9.5mm厚くぎ・N50で最大級の壁倍率2.7

2 **耐火性** 4mm厚で不燃材料試験合格
*防火構造(30分)・準耐火構造(45分)取得

3 **耐久性** 無機材による高い防腐蚀性
強アルカリ(PH10-11)による防蟻性/防カビ性

4 **シックハウス** TVOCを一切含まない
ホルムアルデヒドの吸着・分解
シックハウス対策法の規制対象外商品

5 **適湿** 壁体内の結露防止効果
透湿性にすぐれ家屋全体の均湿化

6 **加工性** 木質のような自在な加工性と曲げ性能

- 構造耐力面材として使用する場合は、取得認定の施工仕様に準じてください。
- MOISSは無機質系材料なので防腐・防蟻処理は必要ありません。
- *防・耐火構造については、お問合せ下さい。
- 保管は乾燥した平らな場所に敷板などを利用して平置きし、雨、水漏れ等を防いで下さい。



施工上の注意

進化する建築素材

